

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・宿泊部門は全国旅行支援もあり、引き続き高稼働をキープしている。料飲部門も歓送迎会等の受注も多々あり、新型コロナウイルス感染症発生前の8割まで回復してきている。
	◎	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・予約台数が増えてきている点からみて、良くなる。
	◎	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数も落ち着きを見せており、特に、外国人の来訪者数が顕著に伸びている。街中の動き、特に飲食店関係は活性化している。
	◎	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク前後から、個人旅行の動きが非常に多い。観光地も大変混雑してきている。
	○	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・来客数の増加、家族や友人等のグループでの来店が増えている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・観光客がかなり多く見受けられる。新型コロナウイルス感染症がある程度落ち着いてきたということで、観光客が今後も増えるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比122%と好調に推移している。値上げが続いているが、客は値上げを受け入れているように見受けられる。また、コロナ禍では売上が落ちていたデザート等の嗜好品が同比139%と、特に好調である。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車両販売台数が増加し、受注は増加している。
	○	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限等の緩和で、4月は景気の上向き方が激しく販売量に現れてきている。新車や中古車販売、車検入庫台数が、2～3か月前と比べものにならないほど、順調に入ってきている。
	○	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の行動制限等の緩和により、季節商材の販売数が前年を超えてきている。
	○	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・4月に入り、前年同月比の売上は伸長している。各商品群の値上げ傾向に、消費者が慣れつつある上に、安定した天候も春の園芸やレジャー用品の売上を助長している。明らかに人流が多くなっている。
	○	その他専門店 [靴小売業] (経営者)	販売量の動き	・2～3月と比較して、4月は新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和等の対策が出ているので、入学、入園等関連で、人が動き出している。地域ごとに差は出ているが、良い方向に向かっていると感じられる。一方、メーカー等の生産や物流は、いまだにスムーズになっておらず、このままの状態が続くそうである。
	○	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・3月の送別会に比べて、4月の歓迎会の件数や人数はいずれも明らかに増加しており、ゴールデンウィークの予約数も増加している。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・少人数、10人以下の飲み会が少しずつ増えている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が落ち着き、宴会予約が入ってきている。また、ランチやディナーの動きも戻ってきている。
	○	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・社会情勢も変わりつつあり、宴会の人数制限もなくなって、人が動いている。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に動きが良かったので、前年同月と比べて15%の増収である。
	○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・いまだに物価高が続いているものの、コロナ禍の反動で、店舗への来客数が増加傾向にある。都心でも、外国人観光客を多く目にする事から、復調の兆しが見える。
	○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・例年に比べて、天候に恵まれ暖かい日が多く、また、新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたこと等から、来園者数が増加している。
○	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・海外からの外国人観光客が、今までの大都市中心の観光から、地方の観光情報を知って地方への観光に移行してきている。	

○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・来月からの新型コロナウイルス感染症の5類移行で、経済活動も活発になると予想され、施主の動きも前向きになってきている。
○	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・新年度になり、各種助成金がゼロリセットされたため、問合せが多少増加している。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症を気にしながらも、人の動きは徐々に良くなってきている。また、街のイベントも開催され、にぎわいが戻ってきているものの、店への客の流れは少ない。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・気候が良くなってきて、人の動きは少し増えてきているように感じている。土日は良くても平日は余り良くない。新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続いている。値上げの影響もあるので、なかなか心配である。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・コロナ禍前の売上を基準とした売上達成度は、前月は上回ったものの、今月はコロナ禍前の7割程度となっている。3か月前の売上達成度と比較しても少し状況は悪いが、コロナ禍の前年度と比較すれば大変良い。ウィズコロナというよりは、アフターコロナといえるほど、観光客が戻っている。3月に比べると、国内客も海外からの観光客も、やや数が落ち着いた感がある。また、月末のゴールデンウィークは、報道にあるような人の動きは余りない。通常の土日程度の人出である。
□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、外出機運が醸成されつつあるが、相次ぐ物価高騰等により消費は足踏み状態である。食料品や化粧品等の消耗品は堅調なもの、それ以外の商品群は苦戦を強いられている。
□	百貨店（店長）	来客数の動き	・店舗への来客数が前年実績を下回る状況が、3月から現在に至るまで継続している。これにより売上も前年実績は超えているものの、目標未達の状況にある。
□	百貨店（店長）	販売量の動き	・生鮮産品や総菜等、食品物販は堅調である。
□	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・売上、来客数共に増加傾向にあるが、これは近隣店舗の閉店による影響である。数字は良いものの、客単価、買上点数等に変化はない。
□	衣料品専門店（統括）	お客様の様子	・客が来店するといろいろな話が出てくる。今年は祭りが開催されるという話題がかなり多くなってきている。これからは良くなり、やや明るくなるのではないかと期待はある。
□	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・季節商材であるエアコンの売上が、前年比102%と伸びている。大型案件がけん引している。映像関連、パソコン、白物家電に関しては、前年比95%と苦戦している。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・依然として、新車や中古車の販売が低迷している。そのため、車検などの整備売上の向上を図り、利益拡大を目指している。
□	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・販売量は3か月前ほどではないものの、人の動きは少しずつ増えており、例年どおりの動きがあったと感じている。
□	一般レストラン（経営者）	それ以外	・これから行楽シーズンに入るため、上向きに感じるかもしれないが、一時的なものとしている。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・4月上旬は、新型コロナウイルスの新規感染者数も少なくなりつつあったが、後半に入り、また少しずつ増え始めてきているようで、心配している。歓迎会等は、1次会で解散し、2次会等などもなく、21時頃までがピークで、深夜の客がいない。売上は10%程度増えている。まだ景気が良くなるには程遠い気がする。
□	通信会社（社員）	単価の動き	・身近な支出では、電気代の高騰を感じている。節電には限界があり、体調を崩してまで節電をする必要性は感じないが、これから夏を迎えるので不安である。
□	通信会社（局長）	来客数の動き	・来客数は回復傾向にあり、景気は上向いているように見える。ただし、物価高騰がいまだに影響し、購買意欲は上がっていない。

	□	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・来場者の様子に変化は感じられない。物価高が来場数に影響している状況にはない。
	□	美容室（経営者）	来客数の動き	・海外投資家は、投資基準として変化を求める。日本銀行の政策に変化を求めるのは時期尚早だろうか。
	□	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・来店客の話は「いつまで、この景気低迷が続くのか」から、「物価高が身の回りに迫り、ゴールデンウィークは出掛けない」という話が増えてきている。消費はしばらく改善しそうにない。
	□	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・売買量、仲介等、動きが悪く、全くない状態である。これから先、販売量が増える要因が見つからない。
	□	住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・いまだに景気が良くなっているとは思えない。街の中をみても、店舗の閉鎖や撤収、売却物件が増えている感じがする。現実には、当社への引き合いも最近は少なく、貸店舗の空室も目立っている。
	▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴い、都内を中心とした商圏に客が流れている。また、止まらない物価高の影響で、食品売場の集客が落ちており、地方店として苦しい状況が続く。
	▲	衣料品専門店 （販売担当）	来客数の動き	・当店の顧客は高齢の年金受給者が相当な割合を占めている。今月は年金支給月にもかかわらず、今までの新型コロナウイルスの感染対策の状況がずっと延長しているようで、客の出が相当に悪い。何とも言えないほど悪い。
	▲	その他飲食 〔ファーストフード〕（経営者）	お客様の様子	・飲食業を営んでいるが、ゴールデンウィークを控えて、旅行資金等にあてるために出費を抑えているのか、昼は営業の人が多いのでそれほど変わらないものの、夜の営業は、来客数、単価共に、落ちている。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・社員食堂等の事業所給食では、コスト全般の上昇が先行している。これまで交渉を続けてきた、新年度からの取引条件見直しにより、どの程度収支がばん回できるかが重要となっている。コストアップが大きいことから、100%カバーするのは難しいと想定される。
	▲	都市型ホテル （経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響が長引いている。マスク生活がなくなると、宴会需要が戻らない。
	▲	通信会社（経営者）	単価の動き	・また徐々に円安が進んでいるため、仕入コストが少しずつ上昇している。
	▲	通信会社（総務担当）	来客数の動き	・大手通信キャリアのオンライン販売が確実に増えており、窓口販売しか利用しない客層に、いかに販促していくか苦慮している。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月から今月への進捗が、前年度と比べて12ポイント鈍化している。前年比で78%とクリアできていない。主要商材が伸び悩み、エアコンは50%、冷蔵庫、洗濯機共に70%、パソコン本体が90%と振るわず苦戦している。内向きの消費から外向きの消費に変わってきている。
	×	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・新車納期がいまだに長期化している。回復の見込みがない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車、ロボット業界からの増産要請が強く、一部部署では、休日出勤対応をしている。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・主要取引先の生産が、以前に比べて安定してきている。売上も少しずつではあるが、増えてきている。
	○	経営コンサルタント	それ以外	・コロナ禍による社会の諸活動及び人心面への影響が、急速に縮小している。また、行楽シーズンの到来とともに、人々の外出行動や消費活動は活発になりつつある。企業の生産活動もコロナ禍前の水準に戻り、設備投資も積極的になってきている。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注、商談件数共に増加傾向にあり、収益は改善されている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特別な変化もなく推移している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・いまだに半導体関連部品の不足によるものなのか詳細は分からないが、自動車やトラック製造関連事業の景気が思わしくないことを痛切に感じている。

	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月に入り、新年度で受注が増えるかと思っていたら、全然増えていない。これから2～3か月は、平行線を歩むのかという気がしている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産の落ち込む機種もある一方で、落ち込み分をカバーできる新機種もある。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・前月と全く変わらず、横ばいである。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・ゴールデンウィークを前にして、レジャー、キャンプ、バーベキュー用品等や、夏物家電、エアコン、扇風機等の物量は前年並みを確保している。しかし、ドライバー不足により、協力会社の車両費も高く、利益は薄くなっている。
	□	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店等が閉店する一方で、新店も同程度あり、良くも悪くもない状況となっている。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・ほとんど変化はない。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・人流増加で、業績が回復する業種はあるものの、全体を押し上げるまでには至らない。
	▲	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注状況が悪化している。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先減少による売上減少と請負額の値上げ交渉が進まず、利益が伸びていない。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、現政権に至るまで公共工事は順調に推移しており、業界としては大変有り難い。今期の公共工事発注額は、前年比で5%減少、前々年比19%減少と、厳しい。当社売上も前期比10%減少で、決算が厳しい数字になるかと心配している。
雇用 関連 (北関東)	◎	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・当社近隣の観光地のホテル、宿泊施設の稼働率も安定して上がってきている。それに伴い、卸などの出入り業者の話を聞くこともあるが、非常に忙しくなってきているとよく聞く。
	◎	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・現時点での求人数が、前年度比1.3倍になっている。
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・建築関係での増改築や食品製造、機械等はやや伸び悩んでいる。生鮮食品や小売、スーパーの出足は良さそうで、人の出入りも多く見られた。飲食店等は観光地を中心として、人の動きが多くみられている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ほとんどの主要産業で求人数が増加している。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人依頼数は変わらず安定しているが、どの職種でも求職者数が圧倒的に不足している。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	求職者数の動き	・正社員に採用されなかった人が派遣求人に応募してくるが、正社員も派遣も高いスキルが求められている上に採用数が少ないため、厳しい状況が継続している。
	×	*	*	*